



11月14日 運営体制の見直しについての提案を受ける！

運営体制の見直しについて

大きく変化する中で経営環境の中で、今後もJR東日本グループが持続的な成長が遂げていくためには、「変革2027」「駅の変革」のスピードアップの実現が不可欠である。
 このため、効率的で生産性の高い業務執行体制の構築を目的として、以下の施策を実施する。

1. 間内改良に伴う体制変更

- (1)実施箇所 錦糸町営業統括センター(小岩駅)
- (2)実施日 2025年2月1日(土)
- (3)要員体制

		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
錦糸町営業統括センター	管理	7	3	10	7	3	10
	一般	1	16	17	1	15	16

- ※ 業務の繁閑等に応じて1人当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。
- ※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

2. 一部業務の委託に伴う体制変更

- (1)実施箇所 錦糸町営業統括センター(錦糸町駅)
- (2)実施日 2025年3月1日(土)
- (3)要員体制

		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
錦糸町営業統括センター	管理	7	3	10	7	3	10
	一般	1	15	16	1	14	15

- ※ 業務の繁閑等に応じて1人当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。
- ※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

3. 必要な準備等は実施する。

《会社に確認した特徴点》

【1. 間内改良に伴う体制変更】

- ・集約と収入拡大の為に間内改良を行い、小岩駅の北口の旧改札のフロアに改札と駅長事務室を集約しワンフロア化する。
ワンフロア化することで要員体制を賄えると判断。要員体制を4徹から管理を入れて3徹に変更する。
- ・柔軟な作業ダイヤによって、深夜帯・早朝時間帯でも対応できると判断。
- ・2月1日実施の根拠は、工事の進捗の目途がたったから。
- ・券売機は北口側に移動。男性休養室は現行の駅長事務室を改良した所に設置。空いたスペースに商業施設が入る。

【2. 一部業務の委託に伴う体制変更】

- ・ホーム業務(現行2徹体制)と遺失物業務をセントラル警備保障に委託。
- ・施策実施により、錦糸町駅の要員体制を8徹1日勤から7徹1日勤に変更する。
- ・乗降終了表示は現在無い。要請があれば本体社員がホームに出場し、乗降終了表示を出す。
- ・3月1日実施の根拠は、これから契約準備に入る関係のため。
- ・テンポラリースタッフは朝夕通勤帯配置する。異常時には本体社員が事務室から出動するよう検討している。

**「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくり出すため、
 全組合員で議論をつくり出し、要求案を練り上げよう！**